



# 動詞の禁止形「～するな」

この課では「食べるな」「歌うな」「行くな」など、聞き手に禁止をする動詞の形(禁止形)を学びます。

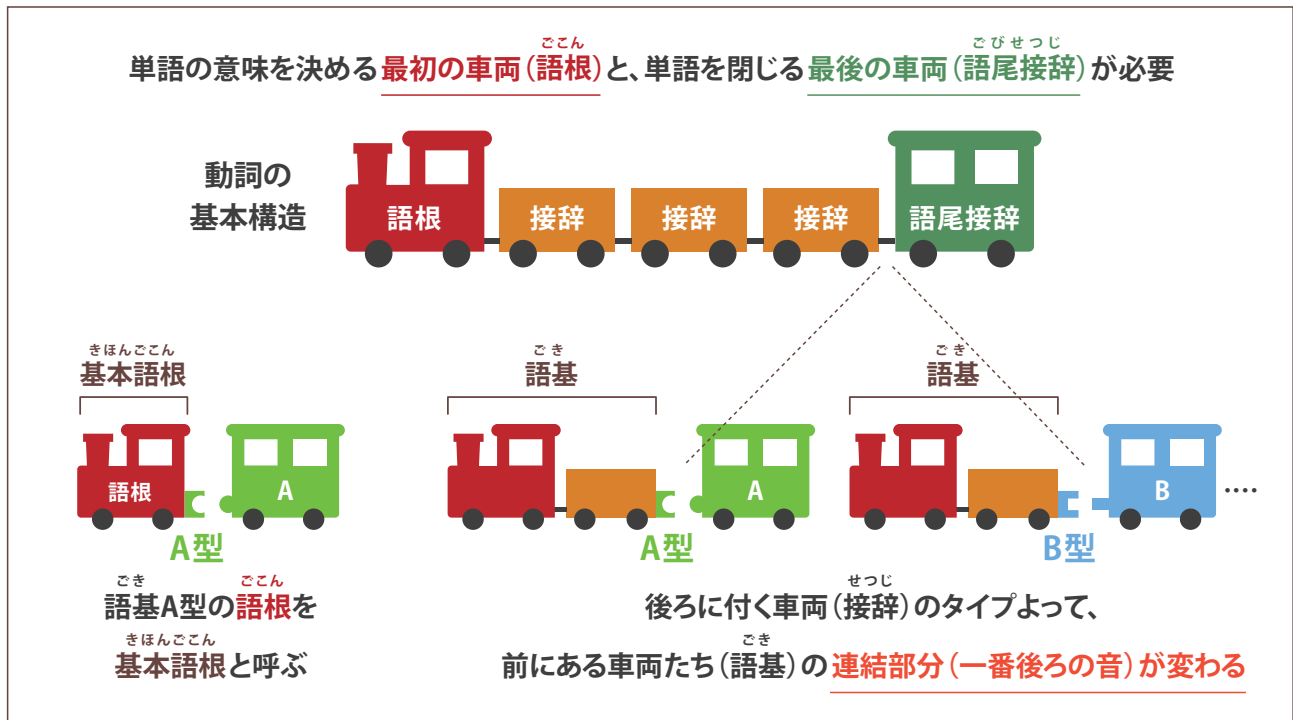
ポイント

1. 動詞の禁止形「～するな」は、語基(A型)に、禁止の語尾  $-(r)una/N^1na$  を付ける。
2. 母音で終わる語基には、 ${}^2runa / Nna$  が付き、子音で終わる語基には  $-una$  が付く。

## 1 動詞の基本構造 (3-5「動詞の基本構造」参照)

動詞を列車にして説明します。動詞は、単語の意味を決める機関車(語根)に、様々な意味を持つ、付属の車両(接辞)がついて作られます。列車が走るためには、最初の機関車(語根)と、単語を閉じられる、最後の車両(語尾接辞)が必要です。

ある車両(接辞)の前にある車両全体を、その接辞に対する「語基」と呼びます<sup>3</sup>。後ろに付く車両(接辞)のタイプによって、前にある車両たち(語基)の連結部分(一番後ろの音)が変わります。このように、変化する語基のタイプには、A型(基本形)、B型、C型の3種類があります。語基A型の語根を「基本語根」と呼びます。



1 「ん」をNと表します。

2 -は接辞のマークです。

3 語根に直接、語尾接辞が接続する場合には、語基=語根になります。2以降の説明は、すべて語基=語根ですので、語基と語根を読みかえても大丈夫です。

## 2 禁止形

禁止の接辞 (-r)una / Nna) は、語基A型に接続します。語基が母音で終わる場合には **-runa** を付けます。地域によっては、**-Nna** を付けるところもあります。語基が子音で終わる場合には **-una** を付けます。

例えば「呼ぶ」という動詞は、基本語根 (語基A型) の **abi**<sup>4</sup> (母音終わり) に禁止の接辞 **-runa** を付けて **abiruna** 「呼ぶな」となります。「待つ」という動詞は、基本語根の **mat** (子音終わり) に禁止の接辞 **-una** を付けて **matuna** 「待つな」となります。

	基本語根 (語基A型)		禁止形
母音終わり	<i>abi</i> 「呼ぶ」	→	<i>abi-runa</i> / <i>abi-Nna</i> 「呼ぶな」
	<i>kuri</i> 「くれる・あげる」	→	<i>kuri-runa</i> / <i>kuri-Nna</i> 「あげるな」
子音終わり	<i>hak</i> 「書く」	→	<i>hak-una</i> 「書くな」
	<i>mat</i> 「待つ」	→	<i>mat-una</i> 「待つな」

## 2 発音してみよう

禁止形は、動詞の中でも一番シンプルな形を持った活用形の1つです。禁止形と一緒に、様々な動詞の基本語根も、少しずつ覚えていきましょう。

<b>abi -runa</b> <b>abi -Nna</b> ----- 呼ぶ - 禁止 <b>「呼ぶな」</b>	<b>nas -una</b> ----- 産む - 禁止 <b>「産むな」</b>	<b>sin -una</b> ----- 死ぬ - 禁止 <b>「死ぬな」</b>	<b>hak -una</b> ----- 書く - 禁止 <b>「書くな」</b>
<b>mat -una</b> ----- 待つ - 禁止 <b>「待つな」</b>	<b>uig -una</b> ----- 泳ぐ - 禁止 <b>「泳ぐな」</b>	<b>kam -una</b> ----- 食べる - 禁止 <b>「食べるな」</b>	<b>asib -una</b> ----- 遊ぶ - 禁止 <b>「遊ぶな」</b>

4 語根だけの形を、ななめ文字で表します。語根だけでは単語は成り立ちません。

練習問題

(1)-(7) はそれぞれの動詞の<sup>きほんごこん</sup>基本語根です。

次の動詞の<sup>きんし</sup>禁止形を予想して書いてみましょう。

(1) *nibu* 「ねむる」 → ( ) 「ねむるな」

---

(2) *furus* 「殺す」 → ( ) 「殺すな」

---

(3) *ak* 「歩く」 → ( ) 「歩くな」

---

(4) *tat* 「立つ」 → ( ) 「立つな」

---

(5) *fuug* 「(船を)こぐ」 → ( ) 「(船を)こぐな」

---

(6) *num* 「飲む」 → ( ) 「飲むな」

---

(7) *tub* 「飛ぶ」 → ( ) 「飛ぶな」

---